

教育講演 1

「医学研究のここが知りたい！ - 資金獲得、海外留学、メンタリングの Tips-」

座長：多胡 雅毅（佐賀大学医学部附属病院 総合診療部 講師 副部長・副診療科長）

EL-1-1 医学研究のここが知りたい！ 資金獲得の Tips-

○鋪野 紀好

千葉大学医学部附属病院 総合診療科 特任助教 兼 総合医療教育研修センター

千葉大学医学部附属病院 総合診療科 後期研修プログラム責任者（家庭医療コース）

EL-1-2 医学研究のここが知りたい！ 海外留学と語学学習の Tips-

○高橋 宏瑞

順天堂大学医学部 総合診療科学講座 助教

EL-1-3 医学研究のここが知りたい！ 研究メンタリングの Tips-

○和足 孝之

島根大学医学部附属病院 卒後臨床研修センター 助教 教育専任医師

教育講演 1

座長のことば

本教育講演では、様々なフィールドで臨床研究を第一線で実践している総合診療医の先生方を講師としてお迎えし、実体験に基づいてご講演いただく。また参加者の皆様の疑問に答える形式で、講師の先生方とのディスカッションを予定している。臨床研究に関する具体的な取り組みや実践方法、学会発表や論文執筆などの発信方法、さらには研究費獲得に至るまでを、これから臨床研究に取り組もうと考えている総合診療医の先生方とともに学びたいと考える。

総合診療領域の研究対象は、医学教育から臨床までと非常に幅広い。医学教育では卒前、研修医、総合診療専攻医、指導医まで、また臨床においては在宅、外来、入院、ICUに至るまでと、すべての事柄が研究対象となりうる。一方で特定の疾患や治療法の効果など、介入と結果が明確に示しやすい臓器別専門領域と違って、一見するとそれらの定義が難しく見え、また大学等の研究を実践しやすい環境の外に勤務する臨床実践家も多いため、総合診療領域では臨床研究が敬遠されがちである。日頃実践しているフィールドでの臨床知を、臨床研究によってエビデンスとして示すことは、たとえ臨床家であったとしても、一医師として、また一科学者としての責務である。また我が国の総合診療領域から良質なエビデンスを多数積み重ねていくことが、領域の専門性の確立に繋がり、さらには日本、ひいては世界全体の医療技術の向上につながる と考える。

本企画が、参加者の皆様の「臨床研究実践の第一歩」を後押しし、将来の総合診療領域の共同臨床研究ネットワーク作りや、メンタリング体制構築に一役買うことができれば幸いである。